

[B部会 発表原稿]

「ビデオ配信型」「ビデオ通話型」によるオンライン研修の実践例について

岐阜県総合教育センター
課長補佐 大石 章生

I はじめに

当教育委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月からの集合型研修は中止し、オンライン研修にせざるを得ない状況であった。そこで、児童生徒の学びの継続と同様に、教職員の学びも継続し、学校の教育力や教職員のキャリアアップの場を保障するために、これまで主に県立高等学校で活用していた県立学校 Web 会議システムを各幼稚園・幼児園、各市町村立小・中学校にまで拡張し、県内全ての教職員が全ての学校で、自己課題に応じた研修を受講できるようした。本研究は、その活用実践例についてまとめたものである。

II 活用実践例

1 Web 会議システムの概要と研修方法

本システムは、インターネットに接続された公的タブレットまたは PC、Web カメラ、マイク、スピーカーがあれば、最大 1000 地点を同時接続し、映像と音声のリアルタイム通話が可能である。また、PC 画面の共有やホワイトボード機能等も有している。

そこで、現在当県が実施している研修は、「テキスト配布型」「ビデオ配信型」「ビデオ通話型」を基本としながら、これらの研修方法を単独、または組合せで実施した。

2 活用実践例

(1) ビデオ配信型 (YouTube チャンネル「当センター」) による研修例【HR 経営研修】

ア 研修内容

ホームルーム経営に関する知識や技能を習得し、実践的指導力を高める。

イ 一方向、別時間帯

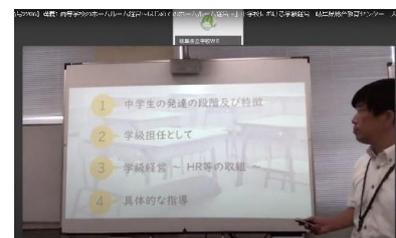
期間限定内で、時間帯や場所を問わず、受講者の都合に合わせて受講できた。

ウ 演習及び講義

受講者が各自で動画を戻して聞き直したり、再閲覧をして研修内容を復習したりすることができた。また、一時停止をしてメモを取ったり演習したりすることもできた。

エ 代替研修

当センターで実施した研修講座の一部を録画して、動画配信をすることで、研修当日に欠席または遅刻した受講者が研修を受講することができた。



オ 編集

あらかじめ収録した講義動画や研修資料等を、研修内容や対象者の実態、事前アンケート等に応じて編集することで、受講者のニーズに応えることができた。

カ 受講者の感想（抜粋）

- ・自分で時間を見付けて研修ができ、遠距離出張による移動時間が不要でよかった。
- ・資料やデータを何度か振り返ったり、聞き逃した点を見直したりできたのは、研修として効果的だった。
- ・同じ立場の方との意見交流等ができなかったのは残念な気がしている。

(2) ビデオ通話型（Cisco Webex Meetings）による研修例【道徳教育と「道徳科」】

ア 研修内容

道徳教育の在り方や道徳の授業の展開について学ぶ。

イ 双方向、同時間帯

リアルタイム通話や画像共有、チャット機能等を活用して研修することができた。



ウ 演習及び協議

講師が受講者に演習内容を提示し、個人で考え、受講者全員で共有化を図るとともに、その内容に対して指導助言をすることができた。

エ チャット機能の活用

受講者が講義を遮ることなく直接講師等にチャットで質問し、その場で即座に解決することができた。通常の集合型研修では講義中に直接質問することは困難であるが、ビデオ通話型では可能であった。

オ 複数人体制による連携

多数の質問があった場合には、講座担当者がホワイトボードに質問項目及び回答を整理することで、効率よく対応することができた。

カ 受講者の感想（抜粋）

- ・勤務先から移動をせずに行えるところは便利であり、チャット交流もよかった。
- ・プレゼン画面をよく見たいと思ったときに大きくすることができ、集合型の研修よりしっかり見ることができよかった。意見交流などの相互型の難しさは理解しているが、意見交流ができないことはせっかくの機会としては残念に感じる。

III まとめ

- ・人数制限がなく、申込者全員が受講できるため、教職員の研修機会を増やすことができた。
- ・研修の時間や場所の制約を和らげるため、受講者や学校の負担軽減となった。
- ・リアルタイム通話は可能であるが、グループでの協議をする機会が減少した。

今後、研修のねらいや内容、受講者のキャリアステージやニーズに応じて、以前の集合型研修も含め、研修内容や研修方法について吟味していく。